

報 告

バングラデッシュにおけるリハビリテーション医療と専門職養成

植村 興

四條畷学園大学リハビリテーション学部

Lopamudra Marek ; Japan Center Bangladesh

&

Sabina Yeasmin ; Department of Genetic Engineering and Biotechnology, University of Dhaka

キーワード

リハビリテーション医療 ; physiatrist ; バングラデッシュ ; 理学療法士

要 旨

バングラデッシュにおけるリハビリテーション医療の現状は、“患者 1 千 5 百万人に対して専門医 35 人”といわれるよう、先進国の基準からみれば遅れている。しかし、リハビリテーション専門医や理学療法士の組織化が進み、それら組織団体の国際基準を視野に入れた活動によって、リハビリテーション医療の活性化や教育システムの整備が改善されつつある。また、NGO や政府の努力によって、市民の障害者的人権や福祉に対する理解が深まりつつある。

“35 physiatrists for 1.5 cr people with disabilities”
(1500 万人の障害者にリハビリテーション専門医 35 人),
これは、2008 年 11 月 16 日付けバングラデッシュの新聞 The Dairy Star の 11 月 15-16 日に開催された Bangladesh Association of Physical Medicine and Rehabilitation (BAPMR) の年次総会を報じる記事の見出しであった。

同記事には、記事見出しの他に、次のような同国における障害者に対する医療制度の課題も記述されていた。
1) 同国障害者医療の中核を担っている Bangabandhu Sheikh Mujib Medical University (BSMMU) には年間 5 万人の患者が受診する。2) 医療施設・設備が十分には整っていない。3) 協働技術者（理学療法士などパラメディカル分野専門職）の体制が不備で、4) 同国政府は理学療法士養成校を新設することを決定した。¹⁾

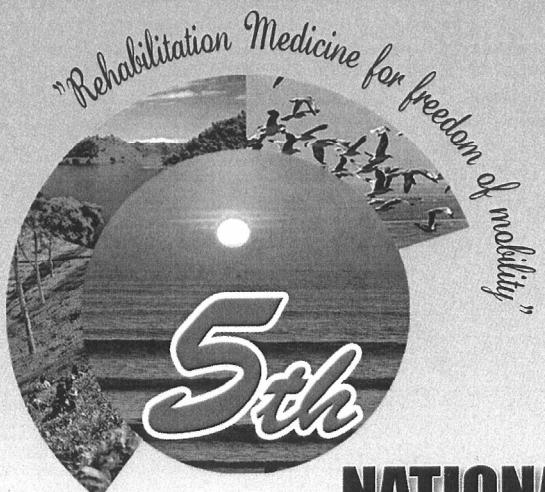
近年、日本と東南アジアあるいはアジア太平洋諸国との学術交流が盛んになってきた。しかし、リハビリテーション医療分野におけるバングラデッシュを含む南アジア諸国との交流はやや立ち遅れているのが現状である。

筆者らは、日本—バングラデッシュ間の科学・技術の交流促進に興味を持ち、活動をし始めている。そこで、今回、関係者との面談、身近な文献、各種団体のホームページ、私信などをつうじてバングラデッシュにおける障害者のための教育と研究の現状を調べたので、その結果を報告する。

バングラデッシュにおける障害者

バングラデッシュの面積は日本の約 5 分の 2、人口は 1 億 4 千万強である。人口密度 961 人/平方キロ、合計特殊出生率 3.1 人と、世界でトップクラスの人口密度でおかつ人口が増加している。障害者数は、WHO の報告では人口の 10% とされ、1 千 5 百万人に達すると推測されている。^{2), 3)}

一般市民や健常者に対する認識の違い—無知、恐れと迷信など—が原因で、障害者のおかれている立場は厳しく、福祉施策も立ち遅れている (BPKS ; バングラデッシュ障害者福祉協会)。“障害者観は、90% が信じるイスラム教に因るところが大きい。喜捨の文化があ



NATIONAL CONVENTION AND SCIENTIFIC CONFERENCE BAPMRCON 2008

**November 15 - 16, 2008
Dhaka**

Venue:

- Dhaka Sheraton Hotel
- BIAM Auditorium • BSMMU



BANGLADESH ASSOCIATION OF PHYSICAL MEDICINE AND REHABILITATION

35 physiatrists for 1.5cr people with disabilities

Experts tell BAPMR Nat'l Convention

NOV 16, 2008

The Daily Star

STAFF CORRESPONDENT

The country has only 35 physiatrists to treat around 1.5 crore people suffering from different types of physical disability, said the experts at the 5th National Convention of Bangladesh Association of Physical Medicine and Rehabilitation (BAPMR) yesterday.

They said though more and more patients are coming to physiatrists, there are only eight medical colleges in the country where Physical Medicine and Rehabilitation (PMR) department

exists.

The experts stressed the need for initiating the subject in all medical colleges and hospitals while all the medical institutes should have outdoor and indoor facilities for intensive rehabilitation of the disabilities resulting from different diseases and traumas.

At the inaugural session of the two-day convention in a city hotel, the experts said MD and Post-Graduate Diploma courses in medical rehabilitation can be opened in old medical colleges.

At the same time, development of trained and skilled paramedical staff like physiotherapist, occupational therapist, speech therapist, prosthetist and orthotist with rehabilitation nurse is also important, they added.

The experts urged the government to make Bangabandhu Sheikh Mujib Medical University (BSMMU) a centre of excellence for rehabilitation medicine from where some 50000 patients received treatment last year.

But still there is no indoor service in the hospital, they added.

Speaking as special guest, BSMMU Vice-chancellor Prof Nazrul Islam said his administration will try its best to introduce indoor service for PMR at the university.

He stressed the need for community involvement with the institution to facilitate treatment of the patients which is almost absent in the country.

"It is terrifying that one institution is forced to provide services to 50000 patients of different disabilities under the PMR department as there are some medical colleges where this specialty exists," said Health Secretary AMM Nasir Uddin while speaking as chief guest.

The subject needs special attention and initiation of indoor facilities at BSMMU is a must, he said, adding, the government has already taken a decision to establish a College of Physiotherapy.

At the convention, aimed to emphasise the role of PMR for the prevention, treatment and rehabilitation of disabilities resulting from musculoskeletal disorder and neurological disorder, the experts said a uniform guideline for the prevention and treatment of disability and the rehabilitation of disabled is needed.

Presided over by Prof Dr Mohammad Quamrul Islam, the inaugural session was also addressed by Dr Mohammad Taslim Uddin, Prof Mohammad Moyeenuzzaman and Prof Mohammad Habibur Rahman.

り、富む人は物乞いや障害者に対して金品を与える。ヒンズー教の影響かカースト的価値観も感じられる（平本実）⁴⁾⁵⁾。街角で身体障害者が喜捨をうながしている光景がよく見られるが、この行動も同国の文化のひとつであるから、異文化の視点でこれを評価することは避けるべきであろう。

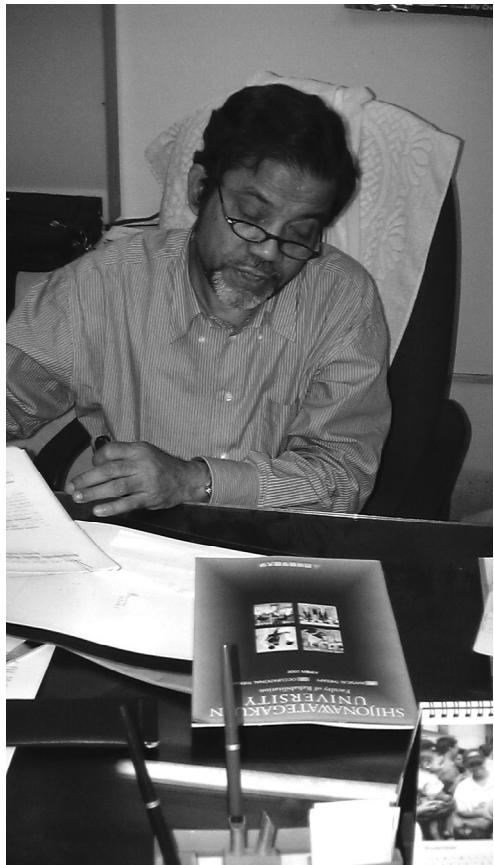
バングラデッシュはNGO大国ともいわれている。障害者の福祉の向上、能力開発や地位向上などに取り組んでいる団体も多く、従来の障害者に対する意識改革へ向けて、積極的に行動している。⁶⁾

バングラデッシュのセラピストの専門教育

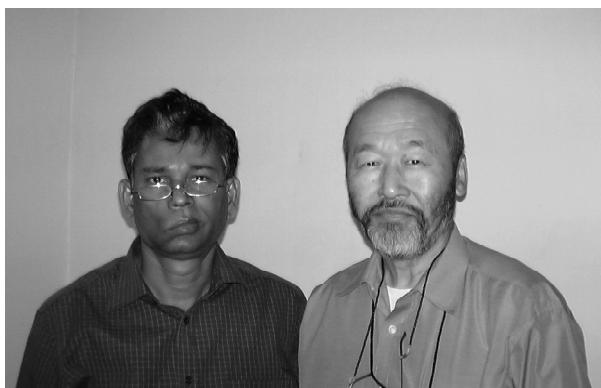
BSMMU Physical Medicine and Rehabilitation科主任教授のM. Moyeenuzzamanによると、リハビリテーション専門医になるには5年の講義と2年の実習を経なければならない。バングラデッシュでは、医科大学でリハビリテーション専門医養成コースを設けているのは8大学のみで、しかも、専攻生の絶対数が少なく、需要に対応して十分には対応しきれてないようである。

いっぽう、理学療法士教育は1972年にスタートし、一時中断の後1994年に再開され、現在に至っている。理学療法士の有資格者は2007年までで479名である。⁷⁾

現在、以下の3大学の6機関で5年制（4年間の講義



M Moyeenuzzaman BARMAR 会長



M Taslim Uddin BARMAR 書記（左）

に1年間の実習)の理学療法士教育がおこなわれている。⁸⁾

1. University of Dhaka

- a) Bangladesh Health Professions Institute (BHPI)
- b) National Institute of Traumatology and Orthopedic Rehabilitation (NITOR)
- c) Bangladesh Medical College (BMC)
- d) State College of Health Sciences (SCHS)

2. Gono Bishwabiddalya (GB)

3. People's University of Bangladesh (PUB)

これらの教育機関はどちらかといえば、研究所や医科大学の庇を借りている感がしないでもなかった。同国政府は、新たに、College of Physiotherapy の設置を決めたと報じられている。¹⁾

バングラデッシュのリハビリテーション関連学会

2008年11月15-16日に開催された第5回BAPMR年次総会の学会要旨に記載の参加者名簿によると、海外からの参加者13名、国内参加者188名となっている。⁹⁾ BAPMR学会書記のM Taslim Uddin准教授は、これは事前登録者数で、当日参加者を含めると300名を超えていたとのことであった。35名のphysiatristsだけでなく、関連分野の医師、理学療法士等、多くの専門家の参加が見られた。なお、BAPMRは、International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM) のバングラデッシュを代表するメンバーである。同要旨集の表紙裏には、9月16日に逝去されたHaim Ring元ISPRM会長に対する追悼文が掲載されていた。⁹⁾

Bangladesh Physiotherapy Association (BPA; バングラデッシュ理学療法士会)のホームページによると、BPAは、2001年に設立され、2007年にはWorld Confederation of Physical Therapists (WCPT)からバングラデッシュ地区メンバーとして承認された。⁸⁾バングラデッシュの理学療法を日本に紹介されたSohrab HossainはBPAの書記である。3rd National Physiotherapy Congress and Scientific Seminarは、2008年11月20日に開催されたが、要旨集は持ち合わせていないので詳細は不明であるが、第5回BAPMR年次総会では、学術セッション数7、発表数30題であった。⁹⁾

バングラデッシュの障害者医療ならびにリハビリテーション分野におけるBAPMRとBAPAが共通して目指しているところは、1)会員の組織化と交流による会員の生涯にわたる専門的学識・技術の維持・向上、2)海外諸国との交流活性化による専門性における国際基準の導入・維持、3)教育・研究の強化による専門性の向上、4)広報活動の強化による一般市民への専門職の存在意義の周知徹底、5)専門職としての職域確保と権利保護、6)行政を含めた外部機関への具体的提言の提示、などに基づいて活動し、最終的には、障害者医療・リハビリテー

ション活動を通じて国民の福祉の向上を図ることにあ
る。^{9), 10)}

課題と今後の展望

Sohrab Hossain は、バングラデッシュの理学療法界の課題として、1)理学療法士の専門職の確保と身分保障、2)国際基準に合った教育プログラム、特に大学院教育の充実を指摘している。⁷⁾

日本において、過去10年間のリハビリテーション分野における教育体制の変貌には目を見張るものがあるが、バングラデッシュにおいても同様である。バングラデッシュでは、日本以上に急速に、世界標準に適合したリハビリテーションシステムの構築を図りつつある。同時に、一般市民の意識改革による専門性の社会的認知を得るために相当のエネルギーを費やしていると思われる。

多くの課題を抱えているとはいえ、バングラデッシュのリハビリテーション分野の将来は希望に満ちている。多くのNGO や政府機関が活動を活発化している。BAPMR や BPA の職域団体もゴールを明確に示し、構成員も団結して多くの難題に取り組んでいる。情報交換手段をはじめとして、迅速に進歩する科学・技術は、時間やコストの面でも専門家の活動を後押ししている。

日本とバングラデッシュとの間には多くの相違点も見られる。それだからこそ、両者の交流を活発にし、協力し合う事によって、専門分野における科学・技術のさらなる発展が期待できる。両国におけるリハビリテーション医療の発展や障害者福祉の向上は両国民のみならず、全人類が目指すところであり、我々のインセンティブの拠りどころでもある。

文 献

- 1) The Dairy Star の記事；<http://www.thedailystar.net/story.php?nid=63511>
- 2) Disability in Bangladesh；<http://www.bpkbsbd.org/pwd.Html>
- 3) バングラデッシュの概要 p147 in；バングラデッシュ生活情報誌ハローダッカ 2007年版、ダッカ日本人会、2007
- 4) 平本実、バングラデシュ障害者福祉法の内容とインパクトー第141回アジア障害者問題研究会報告；<http://www.asiadisability.com/~yuki/141.html>
- 5) Disability in Bangladesh, BPA のウェブサイト；<http://www.bpkbsbd.org/pwd.html>

- 6) Ashrafun Nahar Misti, 第144回アジア障害者問題研究会報告—CBR を否定した障害者の地域活動；<http://www.asiadisability.com/~yuki/144.html>
- 7) Sohrab Hossain ; バングラデッシュの理学療法, PT ジャーナル, 42, 402-403, 2008
- 8) BPA のウェブサイト；<http://www.bpa-bd.org/abtus.htm>
- 9) Proceedings of the 5th National Convention and Scientific Conference BAPMRCON 2008
- 10) BPA のウェブサイト；<http://www.bpa-bd.org/>

Rehabilitation Medicine and Its Education System in Bangladesh

Takashi Uemura^{1,2}, Lopamudra Malek² and Sabina Yeasmin³

¹Department of Rehabilitation, Shijyonawate Gakuen University, Osaka, Japan;

²Japan Center, Bangladesh; ³Department of Genetic Engineering and Biotechnology,
University of Dhaka.

Key word

Rehabilitation medical care, physiatrist, Bangladesh, Physical therapist

Abstract

The present state of the rehabilitation medicine service in Bangladesh is described as “35 certified physiatrists for 15 million patients” as mentioned in the article of the Dairy Star which is below the standard in comparison to developed countries.

But, there are organizations in Bangladesh of physiatrists and physiotherapists and their activities are based on the international standard which are pushing up the level of rehabilitation services and along with it the educational system is also improving.

Moreover, efforts by NGOs and the government can make a better platform of understandiong in the mind of the mass in favor of the human rights and welfare of these disabilities in Bangladesh.